

信 条

本会は、同窓生相互の連絡を密にして親睦を深め、社会学部及び法政大学の発展のために活動することを目的とする。
(会則第3条)

法政大学社会学部

同窓会報

Vol.55

法政大学社会学部同窓会

発行人 高橋 敏 (同窓会会長)
編集人 吉川新吾 (会報委員長)
〒194-0298 東京都町田市相原町 4342
法政大学 4 号館社会学部 A 棟 11 階
TEL・FAX 042-783-2421
<http://www.hoseisoc-dousoukai.jp/>
郵便振替口座 02 東京 00140-1-63762

「HOSEI ミュージアム」

今春、市ヶ谷にオープン



2020年春、法政大学市ヶ谷キャンパスの新しい施設が誕生します。法政大学の歴史を学び、大学のこれからの役に立てる「HOSEI ミュージアム」です。14年から開始した長期ビジョン「HOSEI2030」のもとで進めてきた、法政大学のブランディング施策の一つで、卒業生にとっては、母校の価値を再確認させてくれる交流拠点になりそうです。大学史の調査・研究が専門で、ミュージアムの開設準備を担当する、古俣達郎さん（04年3月卒、鈴木智道ゼミ）に狙いと概要を聞きました。

母校の歴史、文化や個性を学ぶ場

「HOSEI ミュージアム」が開設されることですが、ミュージアム設置はいっ頃から検討されていたのでしょうか。

古俣 15年10月からです。14年にはじまった長期ビジョン「HOSEI 2030」のもと、「法政大学ミュージアム（仮称）」検討委員会が設置され、本格的な検討が開始されました。法政大学には多くの学部や研究所がありますので、委員会を設置したばかりの頃は、各研究所などが所蔵する資料の調査からはじめ、先生方や研究所の方々とヒアリングにうかがい、コンセプトづくりを行ってきました。ワークショップを開催して、教員と職員が一緒になって「法政らしさ」を語り合ったこともありました。そうした取り組みを積み重ねることによって、「人・地球社会の持続可能性のための実験型ミュージアム」というHOSEIミュージアムのコンセプトが次第にみえてきました。

「ミュージアムの展示内容について、準備作業はどのように進めていったのですか。

古俣 展示原案の作成は、委員会での議論のもとに、委員会の副委員長を務めていただいた奥武則先生（元社会学部教授）にお願いしました。その後、展示デー

マごとに個別のワーキンググループを設置して、展示のストーリーや資料の選定などを行いました。また、当初からデジタルを活用することを強みとして打ち出していましたので、デジタルを活用した展示やデジタルアーカイブに関する調査を行いました。

「ミュージアムの場所と開館時期は。」

古俣 ミュージアムの中核的機能を担う「ミュージアム・コア」の開館は20年春を予定しています。場所は市ヶ谷キャンパスに新たに設けた九段北校舎の1階です。

「「ミュージアム・コア」での展示はどのような内容になりますか。

古俣 「ミュージアム・コア」は二つの展示ゾーンに分かれており、1つは「大学史ゾーン」で、そこではタッチパネル式の平面ディスプレイを設置し、創立者の薩埵（さつた）正邦や戦後の総長である大内兵衛先生など法政大学の「フロンティアランナー」たちの生涯や取り組み、エピソードを紹介する内容です。もう一つの展示ゾーンは、「テーマ展示ゾーン」という名称で、本学の教育や研究の強みを表すテーマをめぐって展示を行います。

「HOSEI ミュージアム」のロゴマーク



HOSEI ミュージアム
HOSEI UNIVERSITY MUSEUM

「HOSEI ミュージアム」のコンセプト

「HOSEI ミュージアム」のコンセプトは、法政大学の歴史と未来をつなぐ場として、卒業生や関係者、一般の方々に学びの機会を提供することです。展示内容は、大学の歴史や研究成果、社会貢献活動など、幅広い分野にわたります。また、デジタル技術を活用したインタラクティブな展示も実施予定です。

「HOSEI ミュージアム」の運営方針

「HOSEI ミュージアム」の運営方針は、教育・研究・社会貢献の三つの柱に基づいています。まず、大学の歴史や研究成果を正確に伝えることが第一です。次に、卒業生や関係者との交流の場を提供することです。最後に、一般の方々に法政大学の魅力を伝えることです。

「つなげる同窓会」にシフトチェンジ

社会学部同窓会会長 高橋 敏

「同窓会」は、卒業生と母校をつなぐ重要な役割を果たしてきました。しかし、時代は大きく変わりました。卒業生は知らない市ヶ谷周辺の「校舎」お散歩会、定期総会、記念対談、懇親会が実施されました。記念イベントでは、藤田真文社会学部長と音楽グループ「いきものがかり」メンバーで社会学部06年卒の山下穂尊氏が、「自由を生き抜く」社会学部「の実践」をテーマに対談を行い、在校生約150名を含む200名以上がお二人の楽しいお話しに聞き入りました。

さて、同窓会では近年、駅伝応援と新年会、春・秋六大学野球応援、大人のグ

移転から35年、多摩の将来を展望する年

社会学部部長 藤田 真文

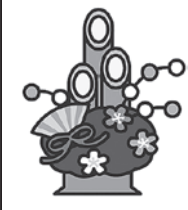
社会学部卒業生のみならず、同窓会会員のみなさま、新年あけましておめでとございます。昨年、法政大学は志願者数が4年連続10万人を超え、併願をカウントしない「実志願者数」では全国1位となりました。社会学部が多摩キャンパスに移転してから、早いもので35年が経過します。19年度には、多摩キャンパスの将来像を検討する「多摩移転計画委員会」が作られ、基本構想の策定に力がかかっています。

「つなげる同窓会」にシフトチェンジ

社会学部同窓会会長 高橋 敏

「つなげる同窓会」は、卒業生と母校をつなぐ重要な役割を果たしてきました。しかし、時代は大きく変わりました。卒業生は知らない市ヶ谷周辺の「校舎」お散歩会、定期総会、記念対談、懇親会が実施されました。記念イベントでは、藤田真文社会学部長と音楽グループ「いきものがかり」メンバーで社会学部06年卒の山下穂尊氏が、「自由を生き抜く」社会学部「の実践」をテーマに対談を行い、在校生約150名を含む200名以上がお二人の楽しいお話しに聞き入りました。

さて、同窓会では近年、駅伝応援と新年会、春・秋六大学野球応援、大人のグ





大河内 友晴 さん

(社会政策科学科1年)



高橋敏同窓会会長と大河内友晴さん

ウェブ系のビジネスで起業できたら……

—— 私たちとの出会いは、まったくの偶然でした。はい。自宅に帰ろうと電車で乗っていると、偶然、「法政の多摩キャンパスは遠いね」という会話が耳に入り、「確かにそうだな」と共感して聞いていたら、降りる駅が同じだったので思わず声をかけてしまいました。それが高橋会長と役員の方との出会いで、意気投

合して駅前の居酒屋に誘っていただきました(笑)。—— 社会学部に入るまではどんな青春時代を？ 中学時代からサッカーをやっていました。高校はサッカーの強豪校に行きたいと思って埼玉に入っ

—— 入ってからの感想は？ いまはプログラミングに興味があり、そのスキルを身につけようと勉強を始めています。僕は社会政策科学科ですが、メディア社会学科の講義も受けられるので、興味のある科目を受けてみたいと思っています。社会学部には個性的な先生も多く、面白いです。

—— サークルやバイトは？ 大学ではスポーツ系はもういいと思う、軽音サークルに入ってます。友達や知り合いを通じて大学の情報を共有したり、同窓会の先輩方と交流してネットワークを広げられたら、僕たちの学生生活も同窓会の活動も、ともに活性化できていると思います。

—— 卒業後の抱負を。プログラミングのスキルを身につけて、そのスキルを生かして将来的にはウェブ系のビジネスで起業できたらいいと思っています。

—— 同窓会に一言。友人や知り合いを通じて大学の情報を共有したり、同窓会の先輩方と交流してネットワークを広げられたら、僕たちの学生生活も同窓会の活動も、ともに活性化できていると思います。



社会課題の解決めざす社会学部の真髄 ソーシャルメディア、ローカルメディア

藤代 裕之 准教授

(「ソーシャルメディア論」「ジャーナリズム論」担当)



今年度の藤代 裕之ゼミの皆さん。笑顔の1枚

今回は、時代の最先端を行く社会学部に3つある学科のうちメディア社会学科で「ソーシャルメディア論」「ジャーナリズム論」を研究分野にしている准教授の藤代裕之氏の登場です。この夏には熱がこもった集中特別授業(9月17日から3日間)も実施しました。

—— 取材・山田幹夫 集中授業は「大学の授業って、こんなにおもしろかったんだ」と実感する意欲的な講義の連続でした。地方新聞社、地方放送局

と広告会社(沖縄タイムス社、西日本新聞社、中国新聞社、高知新聞社に北海道テレビ放送、博報堂ケトル)の協力により、それぞれの現場での仕事内容や働く中の思いや、時に葛藤などを生々しく聴くことができました。3日間、朝9時半から夕方5時頃まで入れ替わり講師が登場する体力勝負ですが、講義を聞き、藤代氏の誘導もあり質問し、終われば感想を書く約40人の学生の熱心な姿にも感心しました。

—— 郷里の徳島で新聞記者を皮きりに多彩な経歴を誇る藤代裕之氏は1973年徳島生まれ。広島大学文学部哲学科卒業からの経歴は多彩です。立教大学21世紀社会デザイン研究科前期修了。徳島新聞記者として、司法・警察、地方自治などを取材。2005年にNTTレゾナントに転職し、新サービス立ち上げやニュースデスク、新規サービス開発担当を経て11年の東日本大震災の被災地岩手県大槌町で情

—— 入ってからの感想は？ いまはプログラミングに興味があり、そのスキルを身につけようと勉強を始めています。僕は社会政策科学科ですが、メディア社会学科の講義も受けられるので、興味のある科目を受けてみたいと思っています。社会学部には個性的な先生も多く、面白いです。

—— サークルやバイトは？ 大学ではスポーツ系はもういいと思う、軽音サークルに入ってます。友達や知り合いを通じて大学の情報を共有したり、同窓会の先輩方と交流してネットワークを広げられたら、僕たちの学生生活も同窓会の活動も、ともに活性化できていると思います。

—— 卒業後の抱負を。プログラミングのスキルを身につけて、そのスキルを生かして将来的にはウェブ系のビジネスで起業できたらいいと思っています。

—— 同窓会に一言。友人や知り合いを通じて大学の情報を共有したり、同窓会の先輩方と交流してネットワークを広げられたら、僕たちの学生生活も同窓会の活動も、ともに活性化できていると思います。

新しい選択(ハーベスト出版、第29回地方出版文化功労賞・島根本大賞2016)など。

—— 法政大学の地方出身学生は現在、3割程度の割合が「個」として切磋琢磨しあう場を提供する日本ジャーナリスト教育センターの代表運営委員。そして、6年前の13年から法政大学社会学部メディア社会学科准教授に。専門は、ソーシャルメディア論、ジャーナリズム論。ゼミのテーマは、ソーシャルメディア時代の「伝え方」の研究と実践。

—— 著書に『ネットメディア覇権戦争 偽ニュースはなぜ生まれたか』(光文社)など。編著に『ソーシャルメディア論つなかりを再設計する』(青弓社)『地域ではたらく「風の人」という

—— 社会問題の解決へ「伝え方」を考える実践も

全国規模の対応力でスピーディーに出張買取!!

古美術・骨董品・
絵画・茶道具買取

その他ジャンルにこだわらず、お気軽にご相談ください。

えんや 買取

LINE@: enya.kaitori

渋谷区広尾3-4-1 シャーレル広尾1F

0120-808-896

美術品・骨董品買取専門店 えんや

●査定士: 遠藤大祐
●法政二高、法政大学社会学部卒
●法政二高 野球部OB
●東京商工会議所会員
●東京美術倶楽部 桃李会会員
●東京美術倶楽部 親和会会員
●全国美術商連合会会員

えんや 社長 遠藤 大祐 法政大学社会学部卒(土生ゼミOB)

▼「ソーシャルメディア」とは？ インターネット上で、誰もが参加できる情報発信技術を用いて、個人による情報発信や人の結びつきを利用した情報流通など、社会的相互性を通じて広がっていくメディアのこと。双方のコミュニケーションが得意なことが特長。

そのためのアプローチとして「社会政策科学科」「社会学科」含めて3学科があります。藤代氏は最近の学生の傾向として「まじめな半面、幅がない」と言ふか、いろいろな角度から見るという視点も欲しい」と指摘します。

点も欲しい」と指摘します。そして、社会の課題の解決に向けて、単なる情報の受け手ではなく、「柔軟な発想で伝え方を工夫し、メディアで解決する」人材を育てたいと、奮闘の最中です。

平日の授業は週に5回、2年から4年生のゼミには12人が登録中です。法政の社会学部は「人間について、社会について深く考え、現代の社会問題を鋭く捉え、適切な解決法を考え出す能力を育成」と学部案内に紹介されており、

前号の「社会学部同窓会報」第54号(2019年6月1日発行)の2面記事「教授登場」の写真説明で「世界中の「働く人」に囲まれて」とあるのは、「マラヤ大学の特別講義で学生さんたちとともに」の誤りでした。訂正します。

【訂正】

〈ミニ情報〉

在校生通信員を募集

「社会学部の今」を同窓生の皆さんに知らせてくれる在校生通信員を募集中。先輩たちに伝えたい話題をリアルタイムに発信して下さい。精査の上、会報で紹介したり、SNS上に掲

東 西 南 北

会員の
短信から

※卒業年は3月時点に記載しています。

【北海道】

札幌市

81 年卒 山下 英俊

栢野ゼミの同級生と連絡
とりたい。(栢野晴夫ゼミ)

【福島県】

会津若松市

73 年卒 半田 徹

69 年入学です。この年の
入学生のお多くは苦しい思
い出を持っていないので
しょうか？ 東大では初め
て入学試験がなかった年
です。医学部に端を発した
「東大闘争」が過激化し、
安田講堂に立てこもり入学
試験が中止になりました。

【埼玉県】

越谷市

58 年卒 横山 隆一

19 年度版「宝塚おとめ」
表紙・望海風斗(雪組トッ
プ)。法政女子(国際・高
出。(村山重忠ゼミ)

【東京都】

入間郡

74 年卒 星野 雄次

会報第 54 号「平野先生と
は何者だったか」を読んで
70 年代初頭にしてクール
でスタイリッシュ。平野先
生を想う。69 年館の研究
室の窓越しにシブプレヒ
コールが聞こえる中、外
濠の向こう側から届いた
出前の鴨南蛮そばをすす
りながら、メットの色つ
つてファッションだか
らと、クルに語り、83
4 番教室「社会工学」講
義の最中、勝新

【千葉県】

習志野市

61 年卒 村上 良三

いつもお世話さ
まです。年次総会な
かなか参加でき
ず申し訳ありま
せん。(拓植秀臣
ゼミ)

太郎の岡田以蔵、三島由紀
夫の田中新兵衛と、映画『人
斬り』のキャストイングの
妙をスパッと斬る先生のス
タイリッシュな姿。スパイ
シーな学生時代の活力源と
なりました。

（平野秀秋ゼミ）

（千葉県）

習志野市

61 年卒 村上 良三

いつもお世話さ
まです。年次総会な
かなか参加でき
ず申し訳ありま
せん。(拓植秀臣
ゼミ)

（千葉県）

習志野市

61 年卒 村上 良三

いつもお世話さ
まです。年次総会な
かなか参加でき
ず申し訳ありま
せん。(拓植秀臣
ゼミ)

（千葉県）

習志野市

61 年卒 村上 良三

いつもお世話さ
まです。年次総会な
かなか参加でき
ず申し訳ありま
せん。(拓植秀臣
ゼミ)

（千葉県）

習志野市

61 年卒 村上 良三

いつもお世話さ
まです。年次総会な
かなか参加でき
ず申し訳ありま
せん。(拓植秀臣
ゼミ)

まで、その視界の広さに驚
いた。工業高専卒の私に
とっては別世界の人だっ
た。でも、20 代の頃、こ
こまで真剣に立ち向かった
かな？ とふと考えること
もあります。若いみなさん
を見ていると、もっと、後
一步、頑張っておけばよ
かったなと思うと同時に
に、もうちょっと頑張ろ
う！ と励まされたりもし
ます。みなさんあと一歩
の勇気を奮ってみてはい
かがでしょうか！ 摩擦が起
きることあるかもしれない
けど、きっと良い経験にな
ると思うので、後悔しない
ように、自分の今にもう一
度チャレンジしませんか？
(土生長穂ゼミ)

【東京都】

葛飾区

63 年卒 河村 勝弘

「苦労様。会員数減少は
何かが欠けているからと思
います！／＼苦労様です。
私も来年(2020 年) 2
月、80 歳です。
(土生長穂ゼミ)

【東京都】

町田市

78 年卒 佐藤 連

悲願である「箱根駅伝」
総合初優勝をめざして頑
張ってください。大いに期
待しています。また、社会
学部的发展を祈念いたしま
す。(田沼肇ゼミ)

【東京都】

国分寺市

73 年卒 風間 道夫

平野秀秋先生に初めてお
会いましたのは 71 年、大学
3 年生の時。映画、音楽、そ
して、いわゆるメディア論

【東京都】

西東京市

78 年卒 関口 和子

19 年 5 月に社会学部社会
学科 78 年卒業のクラスの友
人 5 人で札幌ツアーを楽し
みました。この旅行は 18 年
9 月に起きた北海道胆振東
部地震を被災した札幌在住
のメンバーに会い慰労の言
葉をかけるという趣旨で企
画しました。私たちは 74 年
4 月の入学以来つかず離れ
ず、ずっと近況を取り交す
ことを怠らずに交流を続け
てきました。東京から 3 人
長野から 1 人駆けつけ、札

【神奈川県】

横浜市

68 年卒 松田 滋充

公立中学校を定年退職
後、教育行政や教育現場の
経験を生かし、将来、教職
をめざす学生たちのため
に、清泉女子大学の教職課
程で教科教育法や演習など
の指導(非常勤講師)に携
わり、70 歳で教育現場での
活動を終えました。以後、
生きる意欲や喜びを与えて
くれる活力源として、退職
校長会の役員など、ボラン
ティア活動や、月 3 回程度、

仲間たちとゴルフを楽しん
でおります。
(芝田進午ゼミ)

【東京都】

横浜市

04 年卒 大和 浩一

令和元年 6 月 1 日現在、
変わりなし。
(吉村真子ゼミ)

【東京都】

横浜市

67 年大学院修士卒

三階 泰子
ごぶさたしています。先
日さしあげた「外濠の青春」
10 冊、どのように活用され
ていますか。先生と若い学
生さんに読んでいただき、
今の日本と自分の生き方を
考えて頂きたく参考にして
いただければ、幸いです。
(田沼肇ゼミ)

【東京都】

横浜市

78 年卒 武井 美雄

地方自治に関する学生へ
の対応があればお声をかけ
てください。
(北川隆吉ゼミ)

【神奈川県】

横浜市

81 年卒 山路 一夫

新規入会です。よろしく
お願いします。
(硬式野球部)

【東京都】

横浜市

84 年卒 鈴木 康功

前回の「社会学部同窓会
報」(第 54 号)で秋田成就
先生が昨年(18 年)ご逝去
されていたのを知りまし
た。私のゼミの恩師で 81
、84 年まで「労働法」の薫陶
を受けました。当時の「秋

田ゼミ」は伝統的に少数精
鋭のゼミを自認されており
ました。2 年次は「入門ゼ
ミ」で法学一般や時事問題
等をご指導頂きました。当
時は SNS(ソーシャル・
ネットワーキング・サービ
ス)もなくゼミの課題には
「図書館」での資料や「新
聞記事」に専ら依存してい
ました。当時の課題だった
「新聞記事」のスクラップ
はアナログながら今現在も
形を変えて継続しておりま
す。少数ゼミだったので毎
回、先生の研究室で秋田先
生自らコピーを入れて頂
き、コピーを飲みながら
のゼミは独特の家族的雰囲気
を醸し出し「秋田ゼミ」
の特徴でもありました。3
年次、4 年次の「ゼミ合宿」
での模擬裁判をして「卒論」
思い出は尽きません。
私は社会学部を卒業し秋
田先生に学んだ「労働法」
を糧として社会人となり勤
務ながら「社会保険労務
士」となり、人並みの試験
を乗り越え今日まで生きて
きました。私は今回、秋田
先生の訃報に接し、あらた
めて秋田先生からご指導頂
いたことを誇りに思い、僭
越ながら秋田先生からご教
示頂いた「労働法」
精神たる「労働者保
護」と「労働者の地位
の向上」に向けて今後
も微力ながら尽力する

【富山県】

富山市

75 年卒 山本 剛

7 年前、悪性リンパ腫発
症 3 度の再発。昨年 10 月に
担当医にもう出来る事はな
い、亡くなった時の準備を
した方がいいと患者を見下
うになりました。明らかに
患者へのパワハラでした。
医師の言葉で励まされる事
もあれば地獄に堕ちる事も
あります。話し方次第です。
今は肺炎の治療で呼吸科の
医師にみてもらってますが
少しでも良くしようと治療
する姿に目からウロコとし
た。その日暮らしですが孫
たちに会うのを楽しみに生
きて行きたいと思ひます。
(金山行孝ゼミ)

【大阪府】

三島郡

56 年卒 数土 清治

学友の多くが物故者とな
り淋しい限りです。私も 86
歳、近く迎えがくること
でしょう。(長谷川博ゼミ)

新入正会員の紹介

(受付期間 19 年 5 月
～10 月)

石塚 洋子 (81 年卒)
山路 一夫 (81 年卒)
峯 正和 (81 年卒)
山下 英俊 (81 年卒)
吉田 慎吾 (81 年卒)
内海 正洋 (81 年卒)
平間 緑 (86 年卒)
松田 滋充 (67 年卒)
田中 孝平 (14 年卒)

法政大学社会学部同窓会

幹事 山田 道生

〒017-0803 秋田県大館市東台 2-1-64
TEL・FAX. 0186-43-2980
1963 年 3 月卒 笠原千鶴ゼミ

法政大学社会学部同窓会

常任理事 濱名 達

自宅 〒190-0182 東京都西多摩郡日の出町平井 988
TEL・FAX. 042-597-0135
1965 年 3 月卒 北川隆吉ゼミ

法政大学社会学部同窓会

理事 塩田 利明

〒347-0012 埼玉県加須市多門寺 1153
TEL 0480-68-5118
1967 年 3 月卒 土生長穂ゼミ

ファッションの最前線を追って 今年4回のパリコレ出張

86年社会学科卒業時は、「社会に働きかけて、社会を少しでも前に進める事が仕事というものだ」と決意も高く、地域医療を担い、「差額ベッド料をとらない」というポリシーの都内の総合病院に医療事務をするつもりで入職した。ところが配属はいきなり医師人事。しかも卒後研修医をリクルートするという仕事だった。戸惑いつつ、47都道府県を飛び回り、多くの医学生と生き方や医療の在り方などを話しながら、いつしか天職のような気持ちになつていった。ところが4年を経て

内勤の医事課に異動となり、実は「外に出て人と接し、共に働く仲間を増やすことが楽しかったのか」と気づかされた。

そんな時、ファッション業界専門紙「繊維新聞」で働く大学の先輩から誘いを受け、「外回りで人と接する仕事なら何でも」と27歳で転職した。それから22年間をこの会社で過ごしたが、新メディア見本市の立ち上げなど新規事業の開発を得意としてきた。また欧州各国政府の担当を任されたこともあり、欧米を飛び回る生活に。さらにパリ支局を立ち上げ、フランス

生活も味わった。医療機関では全国を、新聞社では欧米を行動するという不思議な導きを感じたものだ。またフランスでの常識を超える体験は、生き方や暮らし方に対する考えも一変させられた。

退職後、大手セレクトショップのマーケティングディレクターを経て、それまでの経験を生かしてフリーランスのファッションジャーナリストとなった。現在はUSENのラジオ番組MCや大学の仕事と共に、年4回のパリコレ出張をこなす生活を送っており、学生にとっては貴重な経験となっている。



杉野服飾大学特任教授／
ファッションジャーナリスト
アナログフィルター
『Journal Cubocci』編集長
USEN『encoremode』コントリ
ビュートーングエディター

久保 雅裕さん

86年3月卒、田沼肇ゼミ

私論 日本サッカーの発展 64年東京五輪が起爆剤

中村 一廣

（61年卒、増島宏ゼミ）

社会学部を卒業して入社した会社の4年目。待望の東京五輪が開催されました。サッカーの日本対ガーナ戦（10月16日）の入場券を当時の上司から渡され、駒沢陸上競技場に行きました。日本チームを応援しようと思いましたが、入場券が足りず、空席が目立ちました。応援の仕方は現在とは比較できないほど紳士的でした。それでも、当時有名だった杉山隆一選手（FW）や八重垣茂生選手（MF）がゴールを決めたときなど盛り上がりました。結果は2対3で負けましたが、その後、予選はぎりぎり突破し、準々決勝で敗退しました。しかし、全試合で40万人以上の観客を集めたことに驚きました。

今の我が家のすぐそばが柏レイソルのスタジアム。昨年までJ1、今年はJ2ですが、試合のある日は応援の仕方が半端ではなく、観客数は1万人以上が当たり前です。孫4人のうち2人はサッカーファンで中学生の男は部活もサッカー部、地元出身の酒井宏樹選手が柏レイソルから全日本メンバーになり現在フランスのチームで活躍しているの、小中学生のサッカーチームは数えきれないほどあります。我々の時代の「蹴球」から「サッカー」への変貌は私が見た東京五輪が起爆剤だと思われてなりません。



現在の駒沢陸上競技場

随想 故平野秀秋先生のお墓参りと活動報告

桑原 政昭 76年卒



平野秀秋ゼミOB・OGの有志8人は、11月17日、2018年11月16日に亡くなられた先生のお墓参りを行いました。一行は、神奈川県平塚市乗蓮寺にお参りした後、駅前の中華料理屋で先生を偲びました。

参加者は73年から88年卒までで、参加はできませんでしたが、山口、広島、新潟、米沢から、も平野ゼミ卒業生のメッセージが届きました。

平野先生のご縁のおかげだと、改めて感じた次第です。

以下は、平野ゼミ有志の2019年の活動報告です。

○5月18日 薔薇と蕎麦の会（東京都調布市神代植物公園）佐藤他5名。

○5月26日 六大学野球「法明戦」（神宮球場）風間他3名 7対8の屈辱的敗戦。

○7月7日 お墓参りと故平野先生宅（神奈川県平塚市）牧野他2名

○9月15日 横浜基地友好祭と武蔵陵墓地ツアー 星野他3名

○10月6日 六大学野球「法明戦」（神宮球場）岡田他3名 2対1で6戦6勝勝ち点3！

※ゼミ卒業生はご連絡を。

「社会学部同窓会報」紙面で交流しましょう！
「交流の広場」への投稿を呼びかけます。

近況や在学中の思い出、身の回りの出来事への雑感、ご意見などを自由に投稿してください。投稿の際は、①居住地（都道府県・市町村まで）、②氏名、③卒業年（3月時点）、④所属していたゼミ、⑤ご連絡先（携帯電話番号など）、を明記してください。

【訃報】

ご遺族の方から次の会員のご逝去のご連絡がありました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

西脇 和彦（74年卒）
18年10月29日ご逝去



学校法人中央学園
中央福祉医療専門学校

理事長
校長

宮杉 早苗江

本部〒323-0022 栃木県小山市駅東通り 2-24-28
TEL. 0285-24-1571 FAX. 0285-24-2522
E-mail: msanae@peach.ocn.ne.jp
http://www.chuo-fukushiryoku.ac.jp
1970年3月卒 田沼肇ゼミ

法政大学評議員

ミサワホーム株式会社

取締役会長

竹中 宣雄

〒163-0833 東京都新宿区西新宿二丁目4番1号
TEL03-3345-1111 (代)
1972年3月卒 中野ゼミ

法政大学名誉教授
NPOサポートセンター理事
法政大学社会学部同窓会

副会長

山岸 秀雄

携帯090-1461-1525
hideoyamagishi7@gmail.com
1969年3月卒 佐藤毅ゼミ

株式会社 コロンバン

代表取締役
社長

小澤 俊文

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 6-31-19
TEL. 03-3409-2301 (代)
1975年3月卒 庄司興吉ゼミ

*自由と進歩、言論・報道の自由は命
*団塊世代OB、それなりに努力中です
フリーランス・ジャーナリスト
日本ジャーナリスト会議 会員

山田 幹夫

1975年3月卒 芝田進午ゼミ



9 月 23 日、教授会執行部と定例懇談会が開催されました。6 月に開いた学部同窓会 30 周年記念行事の総括と今後の協力体制の確認などについて、意見交換が行われました。

藤田真文社会学部長から社会学部の近況として、新カリキュラム 2 年目が大きな混乱なく順調に推移していること、多摩キャンパスの今後を考える委員会が立ち上がり、予算化の目途を

付けた後、21 年度から施設整備を含めた実施が視野に入っていることなどが報告されました。

高橋敏会長からは、在校生の多数の参加により大成功であった学部同窓会 30 周年記念行事について、社会学部 OB「いきものがかり」の山下穂尊氏との対談を担当していただいた藤田真文

校長へのお礼と、総会にまつわるいくつかのエピソードが報告されました。

校友会年度同期会の解散後の所属組織選びでは社会学部同窓会への移籍が 1 人に留まっている現状を伝え、若い卒業生や 4 年生への先生方からの声かけが大切、と強調しました。

諸般の事情から 19 年度は中止となった多摩 3 学部合同の「就活支援セミナー」についても、今後の実施にあたり意見交換を行いました。藤田学部長から「学生と年齢が近い卒業後 2、3

年目の先輩、もしくは 30 歳のリクルーターの話が有効ではないか」とご提案をいただきました。また、今回は欠席された大崎教授会主任からは『働く』とはどういうことか、考えさせる情報提供型の社会学部らしいアプローチもあってよいのでは」というご提案があったことも報告されました。高橋会長からは「気軽に参加できるカフェスタイルの就活支援機会ができないだろうか」というアイデアが出されると、越部教授会副主任は「コンセプトはとも良い。お茶を飲みながらの方式は参加しやすい

と思う」という意見が出されました。

土橋教授会主任から現在、キャリアセンターでも就職に関する様々なセミナーが実施されている状況についてご指摘をいただき、社会学部独自の特徴を出すのは難しい面もあるため、就活支援セミナーについては、学生のニーズを調査して来年度の実施を目指すことになりました。

順位表 全日程終了 11/04									
	試	勝	敗	分	勝点	勝率			
1	K	慶大	11	9	2	0	4	.818	
2	H	法大	10	8	2	0	4	.800	
3	W	早大	13	7	6	0	3	.538	
4	A	立大	13	6	6	1	3	.500	
5	M	明大	13	4	8	1	1	.333	
6	T	東大	10	0	10	0	0	.000	

学生ニーズ見極め「就活支援セミナー」再開へ

教授会執行部と定例懇談会

追悼 壽福眞美先生

時代の課題に正面から向き合い行動する精神 私たちは受け継ぎます。



「本日、壽福眞美先生の告別式に参列しました。闘病生活を続ける中でも、7 月上旬にシンポジウムで基調講演をされるなど、最後まで研究者としての人生を全うされました。壽福先生は社会学部長を務められた時に、役員選挙をめぐる学内闘争の中で毅然として法政大学の民主主義を守る論陣を張られました。」「私は壽福執行部の主任として、その過程に関われたことを誇りに思います。」

(藤田真文 社会学部長)

19 年 8 月 4 日のツイッターから）

「大学の再生可能エネルギー転換を」
最期の叱咤
お言葉

壽福眞美先生は昨年、名誉教授となられたと同時に、私財を大学に寄付されて「ゼック (ZERO・ENERGY・CAMPU S)」というプロジェクトを立ち上げられました。大学のエネルギーを再生可能なエネルギーに転換していく研究プロジェクトです。私は東京大学先端科学技術研究センターから異動して全面的に参画することにな

りました。先生が逝去された今年の 7 月 31 日の 8 時間前に「ゼックをどう具体化するのか進展せず、困っています。」というメールが届きました。

翌朝、先生の訃報を聞いて驚いたとともにこのメールが先生の最期の叱咤の言葉だと知りました。

先生は、私が 86 年に法政大学社会学部に入学して以来 30 年以上のお付き合いで、進学、結婚、就職、こ

とあるごとに相談してきました。学生との間に垣根をつくらず父親のように自然体で接してくれる恩師でした。今でも見守っていたい

先生が当時社会学部長であった田中優子教授の総長候補者推薦人代表となり、田中優子総長が誕生しました。もし、総長選出方法が教職員の直接選挙でない方法に変わってしまっていたら、今日の法政大学はありません。

東日本大震災と福島第一原発事故以降は、社会学者として現代社会が直面する課題にどう向き合い、専門性を生かして市民と共にどう行動すべきか。連携して動いた船橋晴俊先生と共に、大切なことを私たちに示してくれたように思います。壽福先生、ありがとうございました。

(社会学部同窓会 会報委員 長 吉川新吾 87 年卒、田中義久 87 年卒)

先生が当時社会学部長であった田中優子教授の総長候補者推薦人代表となり、田中優子総長が誕生しました。もし、総長選出方法が教職員の直接選挙でない方法に変わってしまっていたら、今日の法政大学はありません。

東日本大震災と福島第一原発事故以降は、社会学者として現代社会が直面する課題にどう向き合い、専門性を生かして市民と共にどう行動すべきか。連携して動いた船橋晴俊先生と共に、大切なことを私たちに示してくれたように思います。壽福先生、ありがとうございました。

(社会学部同窓会 会報委員 長 吉川新吾 87 年卒、田中義久 87 年卒)

素味常任理事、吉川新吾会報編集担当が出席しました。

※ ※ (依田素味)

(お知らせ) 社会学部教員の訃報

矢部恒彦准教授 (専攻 都市景観論) が 19 年 10 月、逝去されました。54 歳でした。現職教員の在職中の死亡は 14 年の船橋晴俊教授以来のことです。謹んでお悔やみ申し上げます。

六大学野球で応援イベント



10 月 6 日、対明治戦で盛り上がる法政側応援席

法政大学社会学部同窓会

副会長 中正美

TEL.090-8586-1242
E-mail:qqkt5de9k@mocha.ocn.ne.jp
1975 年卒

法政大学社会学部同窓会

会長 高橋 敏

TEL. 090-1802-2908
E-mail : binta0185@gmail.com
1978 年 3 月卒 金山行孝ゼミ

☆憲法 9 条改憲 NO!
☆法政大学 II 部 9 条の会 世話人
司法書士・行政書士 木村事務所

司法書士 木村 誠

〒101-0046 東京都千代田区神田多町 2-7 翔和多町ビル 2 階
TEL.03-3256-7058 FAX. 03-3251-2205
E-mail : cau30510@pop21.odn.ne.jp
1977 年 3 月卒 土生長穂ゼミ

法政大学社会学部同窓会

副会長 赤池 慎一

携帯 090-5585-1049
akaike@mri.biglobe.ne.jp
1986 年 3 月卒 田中義久ゼミ

55/58 きおくプロジェクト
日本ジャーナリスト会議 会員

吉川 新吾

E-mail : shingo-y@festa.ocn.ne.jp
1987 年 3 月卒 田中義久ゼミ

特定非営利活動法人 (NPO 法人) 教育サポートセンター NIRE
代表
特別支援教育士 (S.E.N.S.)

中塚 史行

〒142-0053 東京都品川区中延 5-6-14 第一亀田ビル 2 F
TEL/FAX 03-3784-0450 メール info@npo-nire.org
1995 年 3 月卒 土生長穂ゼミ / 法政大学社会学部同窓会理事

社会学部同窓会報に名刺広告を出しませんか？

広告料金は一枠 5,000 円 (税込み) です。

所属・職名、氏名、住所、電話番号、メールアドレス、3 月時点卒業年、出身ゼミ名、一言メッセージをお知らせください。

※配置は原則として卒業年順です。会報委員会にお任せください。

※お申し込みは同窓会事務局まで。

大原社研と社会学部の100年の歩み			
西暦	和暦	大原社研	社会学部
大正デモクラシー 1910～1920年代 期間については諸説ある			
1919	大正 8 年	2 月 9 日、岡山県倉敷の大原孫三郎によって大阪・天王寺で創設。大原氏は倉敷紡績などの事業を営む一方、大原美術館、倉敷労働科学研究所などを設立した異色の実業家。初代所長は東京帝国大学経済学部教授の高野岩三郎。彼の下に櫛田民蔵、権田保之助、森戸辰男、大内兵衛、久留間鮫造、宇野弘蔵、笠信太郎ら研究者が集まる。	財団法人協調会発足。協調会は渋沢栄一・徳川家達らを中心に設立された労資協調のための研究調査・社会事業団体。
満州事変(1931年) 15年戦争のはじまり			
1937	昭和12年	東京市淀橋区(現新宿)に移転	
太平洋戦争(1941～1945年)			
1947	昭和22年		協調会の伝統を継承して中央労働学園専門学校発足
1949	昭和24年	法政大学と合併	学制改革で中央労働学園大学となる
1951	昭和26年	財団法人法政大学社会問題研究所設立	
1952	昭和27年		法政大学が中央労働学園大学を吸収合併して社会学部設立(麻布校舎)
1957	昭和32年		応用経済学科設置(1 学部 1 学科)
1960	昭和35年		社会学科設置(1 学部 2 学科)
1984	昭和59年		1 年次入学生から順次、多摩移転
1986	昭和61年	3 月、多摩移転。 4 月、財団法人解散、法政大学付置研究所となる	

出典：『法政大学社会学部50年誌』（2002年）、高橋彦博『協調会から中央労働学園へ 法政大学社会学部の前史』（法政大学社会学部学会『社会志林』2003年 3 月）、『法政大学と戦後五〇年』（2004年）、『法政大学大原社会問題研究所案内』（2019年 2 月）
※ 年表作成は社会学部同窓会会報委員会



記念行事でスピーチする鈴木所長

大原社研は、長い間労働問題を中心



『ストライキ消滅』とは何だったのか

大橋 弘 著
『ストライキ消滅・「スト権奪還スト」とは何だったのか』
石坂悦男名誉教授から最近刊行された社会学部卒業生の著書の紹介がありました。ご紹介いたします。
64 年卒業の大橋弘さん著『ストライキ消滅・スト権奪還スト』とは何だったのか』（風媒社、19 年 7 月）です。大橋さんは元毎日新聞労働担当記者。75 年 11 月日本ほぼ全域で、JR の前身、国鉄の労働組合、国労などがストライ

大原社研は、長い間労働問題を中心

大原社研は、長い間労働問題を中心

大原社研は、長い間労働問題を中心

大原社研は、長い間労働問題を中心

大原社研は、長い間労働問題を中心

大原社研は、長い間労働問題を中心

大原社研は、長い間労働問題を中心

大原社研は、長い間労働問題を中心

大原社研は、長い間労働問題を中心

大原社研は、長い間労働問題を中心

一般社団法人

法政大学校友会

終身会員募集中！(終身会員 30,000円)

詳しくはお問い合わせ下さい。

<http://www.hoseinet.or.jp>

法政大学校友会

検索

会長 佐々木郁夫

副会長 豊田信哉 田崎 稔

監事 矢部豊 山寄正俊 笈地敏彦 松井哲也

小林清宣 石塚 護

事務局 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-3 九段校舎 4 階

T E L 03-3264-1831 F A X 03-3264-4770 E-Mail : jimukyoku@hoseinet.or.jp